木材加工部門

木材工芸部門

## 業 『技』 光 エ の る

電気工事部門

測量競技部門

準優勝

準優勝

IJ

## も の づ < 部門 IJ 大会結果 大 会 電気科3年久保田 翔(吾平) 内村裕輔(第一鹿屋) 電子回路組立部門 電子科3年下窪匠(細山田) 6

14

第2号 平成20年7月7日 鹿児島県立 鹿屋工業高等学校 不勤自

屈勉律

が算総

2行われ、発などの協議会は昼過

き学後学ら

健先て『

につじた康生いた

協過

一回路組立部門。

測量競技部門

本れ大テの七技で技が をと上部結露高練こ部 収い位門果し度しれ門校と 本ま会スづ回能そ部八内の がう入にとまな習まにから から入にとまな習まにから めう入にとまな習まになしがトく高をの門種の ま好賞おしし技得で出ら。開鹿り校競技に目高 し成すいてたをしに場は 。績るて三 。披た訓 、六 催児コ生う術つの校 さ島ンも第

大山 祐史(花岡)

小畑 大輔(垂水)

土木科3年大山 晃広(川上)

分交いるの

気通に日行

事健で動自

い十や互返日

で

を

つ故康

けに管

# 示に従ってを確認した。生は 避 難 訓 練 5

15

速職へ ー いにずん今や害いや員の地災 いたのです。とも放送の地震発生の想がでした。「した」とも放送のはました。「以ぞかに避難を行いた。」とも放送のはました。「災でからはなる」。にがなる」。にがなる。にばれば、日々とををでいた。「災では、日々とをでいた。」とは、日々とをでいた。「災では、日々とをでいた。」といる。

ま

た

すも分。振の

学校安全 の 日

6

4

気定に に亡く 不れく和 対 慮 五  $\mathcal{O}$ 学校全体 事 生年 故 で 亡人の裏活 げで黙祷な を た後祈試 捧 たは理おり毎げ生に り合 徒病設後





し率た日告者会職多はまと会そ議ぎ 。に会にで員く懇た続 は、 は、 大会があい。 大会があれる。 大会があい。 大会がな。 大。 大会がな。 大。 大会がな。 大会がな。 大。 大。 大。 大。 大。 大。 大。 大。 大 %出ま十の欠し者りのたT別の間で席し三報席盛、、夜。A集説、



に吸わないという、このいて学びました。ことが言いの依存にはこの依存にはこの依存にはこの依存にはない。とばこの依存にはこの真実・君たにばこの真実・君たがはこの真実・君たいる。 を っ 力 と まし 医 7 た マで、なり よ野狙 い生を判は害例 る田わ と活持断絶性を 隆れ

対には

こ ع 健 康 講 話 5

28

т 総 会 報 告会 5

13

# た ば

高

山将

面

# 路 説 明 会 6

4

進

ました。 徒 年生を対象とし 0 社会経験豊富な方々を講 希望別 に た進 講 話 路 をして頂きま 説明会が 師 行 招 わ き

接での 心得や、 تلح 実 社 会  $\mathcal{O}$ 先 現 生 場  $\mathcal{O}$ 様 子 な

回っ健名

る、 る関 た。 入った講話 真剣な顔で なりました。 三年 講 とても貴 心の 師 高さ 生  $\mathcal{O}$  $_{\mathcal{O}}$ 聞 重 が 進 1 生徒 う な 路 て 方 時 かに  $\mathcal{O}$ 11 間 対 ま 達 熱 が L えす は  $\mathcal{O}$ 



弁

論

大

会

6

17

士が、 秀賞に電子科三 Œ 弁 現 各 を 代 クラス 電 気科三 振る  $\mathcal{O}$ 日常生活 社会問 代表による予選を経 ま 年 題 カコ · の音 年 いら感じ 等 の高山将吾君 様 樫 審 Þ 優 な分野 た事 査 輔  $\mathcal{O}$ 君 結 • (垂水中)、 果、 自己 た七 0) 田田 テ 最優 0 人 崎 0 将 7 中 秀 で 来 弁

では、

道路や鉄道

トンネル・

ダ

ム

橋といった私

達

0

生

色炎

第2種電気工事士

(実

技

金旦

(2次)

各

科

紹

尣

土

木

科

ます。 君 県の た。 電気科 (国見中) 学校代表とし 弁論大会に 最優秀賞 年 が 0 選 門 0) 1松将史 出 ば て 音 れま 場 鹿 樫 児 君



# 部 活 動 紹 介 テ ス 部

て康で現主顧 目 のい公活在将問傷も園動、・・ 優 ま園動 三芝荻 す 勝  $\mathcal{O}$ L 。テ 年原 7 を 生勝 果努 ニい 利生、 カスがコ + ま すことが す 五. '名、 田 0 実 木 中 り、 科三  $\vdash$ 練 先 で 習 で 年年 春 を 毎日 日 日 経 区 に と 生 九 名 た。 大会 < 主 屋 まに ※選 で西年生七、で で 原 生 出 身)

ニ心果 年 績 た で ス 者 部 す 目 を で ま 残

をテ初を部い団先 八成体日  $\mathcal{O}$ 県二位 インター £ ر ح がで・ して九州大き 入構 ょ 部いが う。 でき ま イ 予 せ 大会 で 素 き 晴 ま L 大ぜた出会ひ。場 場創し

## 8 6

6 4 月 行 (水) 事

日日 日 **目** 金 危険物取扱者試 第2種電気工事士 機械製図検定 学校安全の日 I·進 験 次 路説明会 (筆記)

日日 土金水月 前期生徒総会 SPI対策テスト

(3 年

27 21 20 18 17 16 14 13 11 9 永久月 統一上 無記検査 上 日 R

障

2 \ 13 家庭訪問・三者面談(金)情報技術検定 (金) 情報技術検 金  $\pm$ 公務員模試 計算技術検定 3 (進路 车 保

26 7 / 1 月行 期末考査

9 4 2 1 日日日 日 火 水 金 水 普通救命講習会 終業式 (2次) 職業適性検査機械製図検定( パソコン利用技術 単車実技講習会(3年 統一LHR 寮レクリェ ーション (交通) (2次) 検定

活の基盤となるものを作るのが土木の仕事です。 自然環境の保全・修復などもてがけてい ま ず。

です。 ミリ単位まで正 物を作る上で基本となるの 低差を測っているところです。 くてはなりません。 写真は水準測 並確に測 量といって高 0 て が 1 測 カコ な 量

そんな夢を実現してみません 球の 々が安心して暮ら 上にデザインをしていく、 せるように か。

2 29 27 22 18 13 12 日日日日日 日  $\stackrel{'}{4}$ 

火

10 5 • • 11 6 クラスマッチ 小型車両系建設機械講 ボ イラー イラー実技講習会) 中学生体験入学国家技能検定

習

発 行 1 当 た つ

いします。おりました。本年度より より、 ŋ 付 !き合 を 発広 行報 いをよろしく に環 なりし お 願